



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊部 幸顕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長

(氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	25,931	△2.5	1,930	△28.2	2,020	△22.6	2,218	26.8
24年3月期第2四半期	26,587	7.3	2,688	45.8	2,611	40.8	1,750	47.0

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 1,196百万円 (△44.6%) 24年3月期第2四半期 2,160百万円 (547.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	53.67	—
24年3月期第2四半期	42.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	74,640	31,190	41.6	750.91
24年3月期	75,201	30,494	40.4	734.06

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 31,043百万円 24年3月期 30,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
25年3月期	—	13.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年11月7日)公表いたしました「剰余金の配当(第2四半期配当)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	5.3	4,600	0.7	4,500	1.9	3,200	11.8	77.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	48,290,173 株	24年3月期	48,290,173 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	6,948,316 株	24年3月期	6,945,027 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	41,343,467 株	24年3月期2Q	41,350,928 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	11
(1) 販売実績	11
(2) 主要製商品売上高	12
(3) 新薬パイプラインの状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかに回復してまいりましたが、長期化する円高や欧州財政危機の深刻化に加え、世界経済の減速懸念などもあり、先行き不透明な状況下で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、本年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても消費低迷により市場競争が激化するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は259億31百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。一方、利益につきましては、売上高の減少ならびに広告宣伝投資をはじめとして販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益19億30百万円（前年同四半期比28.2%減）、経常利益20億20百万円（前年同四半期比22.6%減）となりましたが、四半期純利益につきましては、債務免除益等を特別利益に計上していることから、22億18百万円（前年同四半期比26.8%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、13.2%（前連結会計年度12.2%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内外において市場浸透に一層注力したことにより売上を拡大し、市場シェアを伸ばさせました。一方、H₂受容体拮抗剤「アシノン」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」などの製品につきましては、本年4月の薬価改定の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は157億85百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝投資を積極的に行い製品認知度向上に努めた結果、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼW」（清涼飲料水）は、昨年の発売以来、順調に売上を拡大しております。また植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましても、堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、引き続きテレビCMを放映するなど販売活動に注力し、圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。個人消費の低迷などの影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は100億43百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は1億1百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は746億40百万円となり、前連結会計年度末対比5億60百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が277億14百万円で、前連結会計年度末対比4億91百万円の増加、固定資産が469億25百万円で、前連結会計年度末対比10億51百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の増加7億81百万円、商品及び製品等のたな卸資産の減少1億16百万円、未収入金等流動資産のその他の減少1億26百万円等であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加64百万円、無形固定資産の減少5億13百万円、投資その他の資産の減少6億2百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は434億50百万円となり、前連結会計年度末対比12億56百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が256億8百万円で、前連結会計年度末対比7億82百万円の増加、固定負債が178億41百万円で、前連結会計年度末対比20億38百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の増加22億23百万円、一年内償還予定の社債の償還1億円、未払法人税等の減少4億84百万円、賞与引当金の減少5億19百万円、未払金等流動負債のその他の減少2億94百万円等であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少20億33百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は311億90百万円となり、前連結会計年度末対比6億95百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上22億18百万円、前期末配当の実施4億96百万円、その他有価証券評価差額金の減少8億74百万円、為替換算調整勘定の減少1億44百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.2%上昇し、41.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比47百万円減少し、55億34百万円となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フローが4億30百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが5億32百万円のプラスであったものの、投資活動によるキャッシュ・フローが9億64百万円のマイナスであったことならびに資金に係る換算差額が45百万円のマイナスとなったことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間は4億30百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比20億99百万円減）。これは、税金等調整前四半期純利益の計上31億85百万円、減価償却費の計上12億33百万円、のれん償却額の計上3億31百万円、賞与引当金の減少5億22百万円、債務免除益の計上9億43百万円、売上債権の増加8億18百万円、たな卸資産の減少1億13百万円、前払年金費用の増加4億21百万円、法人税等の支払14億60百万円等によるものであります。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間は9億64百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比1億22百万円増）。これは、有形固定資産の取得による支出6億79百万円、投資有価証券の取得による支出3億6百万円等によるものであります。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

当第2四半期連結累計期間は5億32百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比16億12百万円増）。これは、短期借入金の増加22億10百万円、長期借入れによる収入3億9百万円、長期借入金の返済による支出13億87百万円、社債の償還による支出1億円、配当金の支払4億94百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期（累計）の連結業績は、平成24年8月8日に発表いたしました平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想に対し、売上高は若干減少いたしました。利益につきましては予想を上回る結果となりました。なお、第3四半期以降は、主力製品である「アサコール」や「ヘパリーゼ群」等の一層の売上拡大を見込んでおりますが、広告宣伝活動の積極的展開などによる経費の増加を見込んでいることから、現時点では平成24年5月15日に発表いたしました平成25年3月期の通期連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,713,399	5,666,361
受取手形及び売掛金	12,605,946	13,387,098
商品及び製品	3,696,287	3,097,240
仕掛品	578,912	542,713
原材料及び貯蔵品	1,793,052	2,312,058
その他	2,857,148	2,730,261
貸倒引当金	△21,443	△21,358
流動資産合計	27,223,302	27,714,376
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,397,257	6,416,783
土地	11,561,618	11,623,560
その他(純額)	3,089,619	3,072,502
有形固定資産合計	21,048,495	21,112,846
無形固定資産		
のれん	11,846,292	11,467,456
その他	1,261,602	1,126,863
無形固定資産合計	13,107,895	12,594,320
投資その他の資産		
投資有価証券	9,767,121	9,201,834
その他	4,119,752	4,079,443
貸倒引当金	△65,402	△62,577
投資その他の資産合計	13,821,470	13,218,700
固定資産合計	47,977,862	46,925,866
資産合計	75,201,165	74,640,243
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,344,145	3,342,731
短期借入金	14,838,164	17,061,444
1年内償還予定の社債	200,000	100,000
未払法人税等	1,519,041	1,034,145
賞与引当金	1,377,199	857,234
返品調整引当金	112,917	111,464
売上割戻引当金	207,551	168,831
その他	3,227,070	2,932,470
流動負債合計	24,826,089	25,608,322
固定負債		
長期借入金	19,123,247	17,089,648
退職給付引当金	146,257	148,576
資産除去債務	72,395	72,719
その他	538,421	530,785
固定負債合計	19,880,320	17,841,729
負債合計	44,706,409	43,450,051

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	27,649,621	29,372,327
自己株式	△7,312,575	△7,317,025
株主資本合計	32,345,190	34,063,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,472,509	△2,346,703
繰延ヘッジ損益	4,664	△1,062
為替換算調整勘定	△527,524	△671,851
その他の包括利益累計額合計	△1,995,370	△3,019,616
少数株主持分	144,934	146,362
純資産合計	30,494,755	31,190,191
負債純資産合計	75,201,165	74,640,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	26,587,207	25,931,081
売上原価	9,369,100	9,099,509
売上総利益	17,218,106	16,831,572
返品調整引当金戻入額	137,817	112,917
返品調整引当金繰入額	140,930	111,464
差引売上総利益	17,214,993	16,833,024
販売費及び一般管理費	14,526,711	14,902,804
営業利益	2,688,282	1,930,219
営業外収益		
受取利息	2,891	3,652
受取配当金	161,626	171,785
その他	36,653	93,955
営業外収益合計	201,171	269,392
営業外費用		
支払利息	150,469	145,353
シンジケートローン手数料	68,500	6,000
為替差損	19,343	—
その他	40,133	27,554
営業外費用合計	278,445	178,907
経常利益	2,611,007	2,020,705
特別利益		
固定資産売却益	168	39
受取補償金	—	250,000
債務免除益	—	943,150
清算配当金	55,964	—
特別利益合計	56,133	1,193,190
特別損失		
固定資産売却損	1,751	—
固定資産除却損	13,800	213
固定資産解体費用	—	28,000
災害による損失	18,682	—
特別損失合計	34,234	28,213
税金等調整前四半期純利益	2,632,905	3,185,681
法人税等	861,668	961,242
少数株主損益調整前四半期純利益	1,771,237	2,224,439
少数株主利益	20,781	5,591
四半期純利益	1,750,456	2,218,847

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,771,237	2,224,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△355,394	△874,193
繰延ヘッジ損益	△55,771	△5,726
為替換算調整勘定	800,181	△147,928
その他の包括利益合計	389,015	△1,027,848
四半期包括利益	2,160,252	1,196,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,129,250	1,195,163
少数株主に係る四半期包括利益	31,002	1,427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,632,905	3,185,681
減価償却費	1,209,262	1,233,672
のれん償却額	339,019	331,483
賞与引当金の増減額(△は減少)	151,710	△522,669
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△921	2,319
受取利息及び受取配当金	△164,517	△175,437
支払利息	150,469	145,353
債務免除益	—	△943,150
売上債権の増減額(△は増加)	△504,890	△818,551
たな卸資産の増減額(△は増加)	△813,548	113,135
仕入債務の増減額(△は減少)	306,856	7,183
前払年金費用の増減額(△は増加)	46,601	△421,130
その他	△259,111	△282,027
小計	3,093,835	1,855,863
利息及び配当金の受取額	164,590	175,467
利息の支払額	△148,842	△140,867
法人税等の支払額	△580,281	△1,460,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,529,302	430,085
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△605,136	△679,001
無形固定資産の取得による支出	△70,725	△83,104
投資有価証券の取得による支出	△338,117	△306,485
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	30,500
その他	△72,764	73,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,086,744	△964,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,615,416	2,210,000
長期借入れによる収入	8,708,534	309,404
長期借入金の返済による支出	△1,656,918	△1,387,749
社債の償還による支出	△100,000	△100,000
自己株式の取得による支出	△4,046	△4,450
配当金の支払額	△411,568	△494,592
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,079,415	532,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	298,103	△45,533
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	661,247	△47,037
現金及び現金同等物の期首残高	4,817,728	5,581,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,478,975	5,534,250

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,853,565	10,624,082	26,477,647	109,560	26,587,207	—	26,587,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	49	49	189,648	189,698	△189,698	—
計	15,853,565	10,624,131	26,477,696	299,209	26,776,906	△189,698	26,587,207
セグメント利益	3,450,869	1,656,256	5,107,125	78,387	5,185,513	△2,497,231	2,688,282

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,497,231千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,785,606	10,043,574	25,829,180	101,900	25,931,081	—	25,931,081
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	81	81	211,509	211,591	△211,591	—
計	15,785,606	10,043,656	25,829,262	313,410	26,142,672	△211,591	25,931,081
セグメント利益	3,016,391	1,047,181	4,063,573	90,647	4,154,220	△2,224,000	1,930,219

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△2,224,000千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	15,785,606	△0.4
コンシューマーヘルスケア事業	10,043,574	△5.5
報告セグメント計	25,829,180	△2.4
その他	101,900	△7.0
合計	25,931,081	△2.5

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 主要製商品売上高 連結

(単位：百万円, 端数切捨表示)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増減(△)比(%)
1. 医療用医薬品事業	15,853	15,785	△0.4
アサコール	5,203	6,068	16.6
プロマック	2,686	2,535	△5.6
アシノン	2,912	2,509	△13.8
新レシカルボン	450	423	△6.0
アビテン	346	357	3.3
ランドル	260	334	28.2
ペオン	316	257	△18.6
その他	3,675	3,297	△10.3
2. コンシューマーヘルケア事業	10,624	10,043	△5.5
コンドロイチン群	3,585	2,908	△18.9
ヘパリーゼ群	1,168	1,792	53.5
ウィズワン群	617	652	5.7
ハイゼリーB群	348	330	△5.0
ドルマイシン ドルマイコーチ軟膏	290	307	6.0
その他	4,614	4,051	△12.2
3. その他の事業	109	101	△7.0
合 計	26,587	25,931	△2.5

(3) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成24年11月7日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 予定製品名 アコファイド
フェーズⅢ	Z-103/ ボラブレジンク	自社	味覚障害 プロマック効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅠ準備中	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品 アジア同時開発

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-521	自社	くる病・骨軟化症を伴う 低リン血症	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品	自社品 予定製品名 ホスリボン
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (欧州、アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品